

## 【事業実施の背景】

- ・ 泉北ニュータウンは、まちびらきから50年が経過し、少子高齢化や都市施設の老朽化等が問題化
- ・ まちの活力を維持するため、空き家を活用し、若い世代に継承している流れを作ることが必要
- ・ 戸建住宅の賃貸活用は普及しておらず、新たな選択肢として提案・支援していくことが必要

## 【事業の特徴】

- ・ 不動産コンサルティングの専門家を中心に、ニュータウンの戸建住宅の有効活用に関する相談に対し、ニュータウン内に設置された相談窓口で対応
- ・ 戸建住宅の賃貸流通を促進するための様々なスキームの検討

## 総合相談窓口

### ■ 相談窓口の設置場所

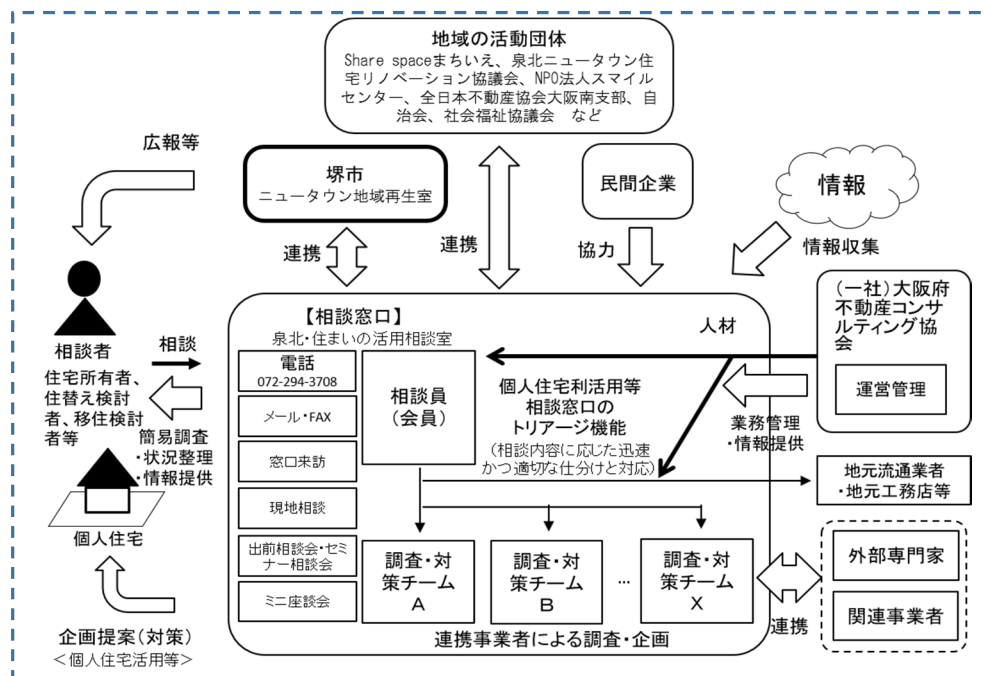
泉北・住まいと空き家の相談室

### ■ 相談対象者

- ・ 泉北地域を中心とする戸建て住宅の所有者
- ・ ニュータウンへの転入を考える若年世帯 等

### ■ 特徴

- ・ 不動産コンサルティングの専門家を中心に、行政や地域の活動団体、民間企業と連携して、戸建住宅の有効活用に関する相談に対応
- ・ 住宅の活用や空き家の管理・予防等、住まいの相談に関する相談対応のルールや相談のための基礎知識をまとめた手引書を改訂



## その他のモデル的な取組

- ・ 転賃人の改修工事費負担によるDIY型転賃のモデル事業を実施
- ・ ニュータウンの戸建住宅を所有する高齢者を対象とした、利便性の高い駅前への住み替えと、転居により利用されなくなった戸建住宅の活用事業

## 事業実績(平成29年度～平成30年度)

### ■ 総合相談窓口

	平成29年度	平成30年度
対象地域内に所在する個人住宅等の所有者からの相談	18件	45件
対象地域内への住替又は移住検討者からの相談	3件	11件
地域内で事業を実施しようとする利活用検討者からの相談	2件	2件
その他	5件	16件

- 住まいと空き家のセミナー&相談会 平成29年度(11回)参加者数:27名 平成30年度(3回)参加者:40名
- ミニ座談会 平成30年度(6回)参加者18名

## 事業の成果

- セミナー&相談会やミニ座談会の開催により、戸建て住宅所有者の空き家問題への意識が高まった
- ミニ座談会の開催により、空き家対策の抵抗力の一つになっている「片づけ」を意識づけることができた

## 今後の課題

- 戸建住宅等の所有者との接点多く設けるため、高齢期の住まい方などライフスタイルを含めた様々なチャンネルからアプローチすることが必要

## 今後の事業展開

- 駅前でのセミナー&相談会の継続実施に加え、自治会や福祉関係団体と連携したセミナー等を中心に意識啓発活動を継続していく